

岡崎市中央図書館集中アクセス事件

- 蔵書検索のシステムトラブル
- アクセスを行っていた男性が逮捕される
- 男性は自作のクローラを使用
- 専門家は捜査に疑問

問題点

- 図書館サイトが極めて脆弱
- 男性に攻撃の意図なし
- 警察がプログラムを理解していない
- システムを業者に任せっきり
- 逮捕の妥当性

事件から学ぶこと

- ITに関する理解の必要性
- システムの共有
- 専門家と一般人のギャップ
- 外部の意見の重要性